

実践家のための  
ソーシャルペダゴジー  
子ども・若者と関わる理論・価値  
観・ツール

著者：ジャン・ストロー  
訳者：森茂起・植原真也・益田啓裕



A5判：218頁  
2,970円(税込)  
誠信書房

◆評者／高田英弦(医療記者)

今夏発生した元首相銃撃事件で  
いわゆる宗教2世が抱える深刻な  
課題が浮き彫りになった。報道を  
通じて凶行犯の家族関係や成育・  
生活史を知るにつれ、多くの人が  
考え込んだに違いない。だが家庭  
に限らず学校、職場といった局所  
の内情は外から見えにくく、他人  
が関わりと混乱を来しかねない。

事に見えても貧困や犯罪、虐待、  
いじめ、嫌がらせは社会の問題。  
心身障害、性的指向・性自認によ  
る不当処遇も見逃ごせぬ。社会的  
理解と支援を要する事例は多い。  
本書は子ども・若者福祉の実務  
従事者にソーシャルペダゴジーの  
基礎をひもとく。その本義は直訳  
(例えば「社会的教育学」)から推  
し量れない。実は社会、対人関係、  
教育・養育・養護の視座が併存す  
る、ドイツ発祥の福祉概念。周生

も家庭環境も悩み事もそれぞれ異  
なる子ども・若者の支援に際し、  
学際的観察眼と包括的支援術を持  
ち合わせておこうという考えだ。  
著者はソーシャルペダゴジーの  
意義を説き、理論を実践に生かす  
道筋を示す。理想は専門分野化し  
制度や教育課程に取り入れ、その  
担い手となる専門職、ソーシャル  
ペダゴグを養成すること。日本  
では概念の普及が先決。多職種の  
連携強化、協働促進を図りたい。

発達障がい、グレーゾーン：  
発達障がいになる子ども  
への関わり方を教えてください！

著者：中村敏也



四六判：208頁  
1,650円(税込)  
かぞひの文庫

◆評者／白井美樹(ライター)

発達障害やグレーゾーンの子ど  
もは、それぞれが個性的な言動や  
喜怒哀楽を示すものだ。なぜそう  
した行動や表現をするのかが分か  
らず、どう対応したらいいのか悩  
んでいる親や保育、療育関係者も  
少なくないだろう。  
本当ならみんな違っていいはず  
なのに、現在の子どもを取り巻く  
療育の世界では、多くの課題が山

積みだ。その点を何とかしたいと  
考えた著者は、自ら保育所、療育  
施設、発達支援事業所などを立ち  
上げ、発達特性のある子どもた  
ちが、保育園、幼稚園、小学校で  
過ごしやすくなるようにサポート  
する事業に取り組んでいる。  
本書では、著者が現場で実践し  
ている試みを余すところなく紹  
介。大前提となる5つの基本ポイ  
ントである「時間がかかる」「愛  
着を育てる」「いいところだけに

注目する」「周囲の動きに惑わさ  
れない」「抱え込まない」を押さ  
えた上で、子どもたちの気持ちの  
知り方や、困ったことへの対応方  
法を具体的にまとめてある。  
家庭、保育園、小学校などです  
ぐに活用できる関わり方の秘訣が  
満載な上、より良い児童発達支援  
事業所とのつながり方の指図もあ  
る。保護者や保育・療育関係者の  
みならず、本誌読者にも参考とな  
る一冊だろう。

死にそうだけど  
生きてます

著者：ヒオカ



四六判：288頁  
1,650円(税込)  
CCCメディアハウス

平成7年生まれの著者は、新品  
の服が着られないような貧困家庭  
で育った。中学校ではいじめから  
不登校になり、学校の相談室登校  
を続けて卒業。市で一番の公立高  
校に進むも制服が買えず、道具に  
お金のかかる部活もできなかつ  
た。公立大学進学後はゼミの飲み  
会の参加費が払えなかった。就職  
先が合わずに退職、派遣社員とな  
り、劣悪な環境のシェアハウスで  
暮らすある日、とうとうストレス  
で心がぱりんと音を立てて……。  
努力だけでは貧困の沼から抜け出  
せない現実。著者は言う。「自己  
責任論とは想像力の欠如である」。

ナッジ×ヘルスリ  
テラシー  
ヘルスプロモーションの新たな  
潮流

編著者：村山洋史・江口泰正・  
福田洋



B5判：160頁  
2,200円(税込)  
大修館書店

ヘルスリテラシーという言葉が  
浸透してきたと感じる一方、健康  
無関心層などヘルスリテラシーが  
不十分な人へのアプローチに悩む  
人も多いことだろう。そこで注目  
されるのが急速に認知度を高めて  
きたのが「ナッジ」だ。そつと後  
押しするという意味を持つナッジ  
をヘルスリテラシーに掛け合わせ  
ることで、行動への一歩が踏み出  
しやすくなるのではないか――。  
本書のタイトルには、そんな専門  
家たちの思いが込められている。  
前半で理論を学び、後半の事例紹  
介を盛り込んだ実践編は、ぜひさ  
まざまな現場で活用してほしい。

Give it try!

ちょっと知っく・  
間違い探し

この季節、焼き芋屋台の甘い誘惑には勝てません。



?  
間違いは全部で6つ。  
どこにあるでしょう?

